

India Weekly

2018年12月17日



(対象期間：2018/12/10～12/14)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2018年12月14日)



【株式市場】

週初は、前週末に発表された5州の地方選挙の出口調査で、モディ首相のインド人民党（BJP）が事前の予想より苦戦との状況が示され、大きく下落しました。同日引け後にインド準備銀行（中央銀行、RBI）のパテル総裁が任期途中で辞任を発表したため、翌11日の現地時間朝方は下落しましたが、11日は地方選挙の一斉開票が行われる日でもあり、開票の途中経過でBJPの苦戦はそこまで厳しくないと思われ、前日比で上昇しました。さらに、11日は引け後にパテル総裁の後任としてシャクティカンタ・ダス氏が任命されたと伝わり、12日以降はダス新総裁が金融緩和を行うとの期待感などを背景に、週末まで堅調となりました。

2018/12/7	2018/12/14	変化率
35,673.25	35,962.93	+0.81%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年12月14日)



【債券市場】

週初は、5州の地方選挙の出口調査を嫌気して10年国債利回りは大きく上昇しました（価格は下落）。10日のパテルRBI総裁の辞任を受けて、11日朝は10年国債利回りは急上昇していましたが、その後地方選挙開票の途中経過を受けて反転し、11日の10年債利回りは前日比低下となりました（価格は上昇）。12日はダスRBI新総裁が金融緩和を進めるとの期待感から10年国債利回りは大きく低下しました。11、12日と大きく利回りが低下していたことからその後週末にかけては利回りは若干上昇しましたが、週間では利回り低下となりました。

2018/12/7	2018/12/14	変化幅
7.464	7.441	-0.023

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年12月14日)



【為替市場】

RBIのパテル総裁の任期途中で辞任が、11月に報道されていた政府とRBIの関係悪化が背景と受け止められて、ルピーは対米ドルで下落しました。円も対米ドルで下落しましたが、ルピーの下落幅の方が大きかったことから、対円でも下落しました。

2018/12/7	2018/12/14	変化率
1.594	1.580	-0.92%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。